

今月のKYT（危険予知トレーニング）

◆ 豪雨の中、高速道路の走行車線を走行しています。

- 自車の前方をトラックが走行しています。
- 自車はこのまま進行したいのですが……。

【解説は次ページ】

下記のKYTトレーニングを実施し、自己の危険予知能力を高めましょう！

Q どのような危険がありますか？



◎ 予想される危険を記入して下さい。 氏名 _____

1 _____

2 _____

3 _____

知 予 知
危 険 予 知
ポ イ ン ト

- ① 急減速したトラックに追突する。
- ② トラックを追い越そうと車線変更した際、スリップして中央分離帯に衝突する。

前方を走行している
トラックの減速を予測しておく

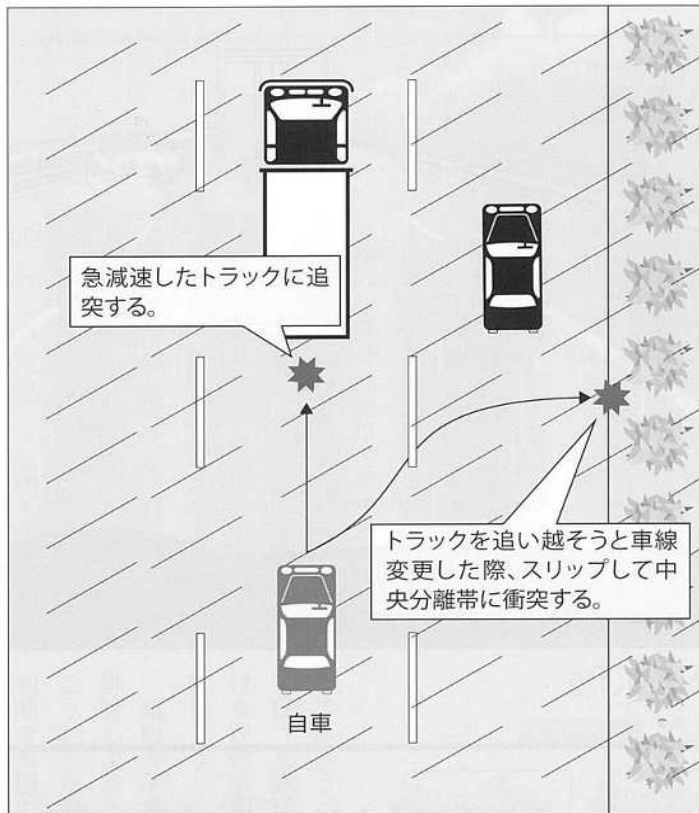
大雨と前を走行するトラックにより、前方の状況をうかがい知ることができません。雨天時には停止距離も晴天時に比べて長くなることから、漫然と追従しているとトラックが急減速した場合、追突する危険があります。

雨天時には、前車の急減速にも対応できるように車間距離を通常よりも大きくとっておくとともに、速度を控えて運転しましょう。

車線変更時のスリップに注意

雨の日に安易にトラックを追い越そうとして車線を変更すると、スリップして中央分離帯に衝突する危険があります。

雨天時は必要のない追越しは控え、走行車線を走行しましょう。



雨天時にはスピードを抑え、適切な車間距離の確保を徹底しよう

※ 前方のトラックと乗用車が接触事故を起こし、急停止やスピンすることも想定し、車間距離を十分確保しましょう！

KYT(危険予知訓練)は、交通場面を見て、どこに、どういう危険があるかを想像することで、危険を予測する訓練法です。
日々 KYTを行い、危険感受度を高めて防衛運転に役立てましょう。

※ 毎月配信しています。有効に活用し事故防止にお役立てください。